

0AFL051 基礎ゼミI

1.0 単位, 1 年次, 春B 土6,7

森田 憲右

授業概要

初学者を念頭に、民法について、今後の学習方法の方向性を把握してもらうことを目指す。比較的短い事例問題を題材に用いる。特に、法的議論の進め方の特徴を概括的にでも理解すること、基本書や判例を読む際の注意点、使用方法に留意する。以上により、法学学習の最初期に学習の骨格部分を固め、以降の学習に臨む態勢を整える。

備考

対面(オンライン併用型)

授業方法

演習

学位プログラム・コンピテンスとの関係

リーガルマインド

授業の到達目標（学修成果）

民法について、今後の学習方法の方向性を把握し、法的議論の進め方の特徴を理解すること。基本書や判例を読む際の使用方法を理解すること。同時に、民法の基本的な仕組み、発想に慣れること。

キーワード

事例問題の答案作成、物権変動、時効、意思表示の瑕疵、代理

授業計画

民法 I、民法 IV-1 で扱う重要事項について概説後、約1時間、起案になれることを目的として、事例問題の答案作成を行う。判例付きでない六法のみ参照可。答案作成の翌週、当該事例問題について解説し、学生が作成した答案の講評をする。

- 第1回 ガイダンス、答案作成上の留意点、意思表示の瑕疵の概説
- 第2回 94条2項の類推適用に関する概説と答案作成
- 第3回 第2回での答案作成の解説、177条の「第三者」の概説
- 第4回 背信的悪意者に関する概説と答案作成
- 第5回 第4回での答案作成の解説、登記を要する物権変動の概説
- 第6回 登記を要する物権変動に関する答案作成
- 第7回 第6回での答案作成の解説、代理の概説
- 第8回 表見代理、無権代理と相続に関する概説と答案作成
- 第9回 第8回での答案作成の解説
- 第10回 その他の重要事項、答案作成の留意点について

履修条件

配当年次による

成績評価方法

答案作成100%

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業外における学修(予習・復習等)については、授業時に担当教員より示す

教材・参考文献・配付資料等

◎参考書

佐久間毅『民法の基礎I 総則（第5版）』（有斐閣・2020年）

佐久間毅『民法の基礎II 物権（第3版）』（有斐閣・2023年）

オフィスアワー等（連絡先含む）

授業後に対応する

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）

担当は、森田教授ではなく、保高睦美先生が担当されます。

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）

0AFL053 基礎ゼミII

1.0 単位, 1 年次, 春C 土4,5

福田 純一, 山岸 久晃

授業概要

初学者を念頭に、憲法、刑法について、法的な考え方、法的な表現を把握してもらうことを目指す。

各科目における重要な解釈論を含む事例問題を題材に用いる。基本書や判例を読む際の注意点、使用方法に留意する。以上により、以降の学習に臨む体制を整える。

備考

対面(オンライン併用型)

授業方法

演習

学位プログラム・コンピテンスとの関係

リーガルマインド

授業の到達目標（学修成果）

憲法、刑法について、今後の学習方法の方向性を把握し、法的議論の進め方の特徴を概括的にでも理解すること。基本書や判例を読む際の使用法を理解すること。同時に、憲法、刑法の基本的な仕組み、発想になれること。

さらに、憲法と刑法との比較。どのような共通する考え方があり、どのような違いがあるかについて概括的に理解すること。

キーワード

違憲審査基準・三段階審査 構成要件・違法・有責

授業計画

各科目における重要な解釈論を含む事例問題を用いる。具体的事案に一般的抽象的な法規範を解釈、適用して事案の解決を導く、という法的議論の進め方を受講者と一緒に行う。

憲法

第1回前半 経済的自由に関する諸問題概説（含、憲法の構造、起案方法）

第2回前半 表現の自由に関する諸問題解説（含、違憲審査基準）

第3回前半 幸福追求権（包括的基本権）、平等権、その他に関する諸問題概説

第4回前半 小テスト

第5回前半 生存権、政教分離、その他に関する諸問題概説

刑法

- 第1回後半 単独正犯に関する諸問題概説①
- 第2回後半 共同正犯に関する諸問題概説①
- 第3回後半 共同正犯に関する諸問題概説②
- 第4回後半 小テスト
- 第5回後半 刑法各論に関する諸問題概説

履修条件

配当年次による

成績評価方法

レポート憲法刑法各50%、合計100%

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業外における学修(予習・復習等)については、授業時に担当教員より示す

教材・参考文献・配付資料等

講師は授業を行うに際して、下記の書籍を含む複数の書籍を参考とする予定であるが、学生は、既に使用している教材があれば、これを使用して構わない。

憲法

1. 芦部信喜、高橋和之「憲法」[第八版]
2. 渡辺康行、穴戸常寿、松本和彦、工藤達朗「憲法Ⅰ 基本権」[第2版]
3. 木下智史、伊藤建、「基本憲法Ⅰ 基本的人権」
4. 長谷部恭男、石川健治他「憲法判例百選Ⅰ」[第七版]
5. 長谷部恭男、石川健治他「憲法判例百選Ⅱ」[第七版]

刑法

1. 井田良「講義刑法学・総論」[第2版]
2. 大谷實「刑法講義総論」[新版第5版]

オフィスアワー等（連絡先含む）

授業後に対応する

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）